

2020年7月21日
日本電気硝子株式会社

フォルダブルディスプレイのカバーガラス用に世界最薄ガラスの開発に成功

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市 社長：松本元春）は、フォルダブルディスプレイのカバーガラス用に世界最薄^(※1)となる薄さ 25 μ m (0.025mm) の化学強化専用ガラス Dinorex UTG™の開発に成功しました。

当社は、スマートフォンやタブレットなどの携帯端末のカバーガラスをはじめ、車載ディスプレイなどのディスプレイ画面を傷や衝撃から保護するために開発された化学強化専用ガラス Dinorex®を生産・供給してきましたが、この度、フォルダブルディスプレイにも対応できる非常に薄い Dinorex UTG™をラインアップに加えました。

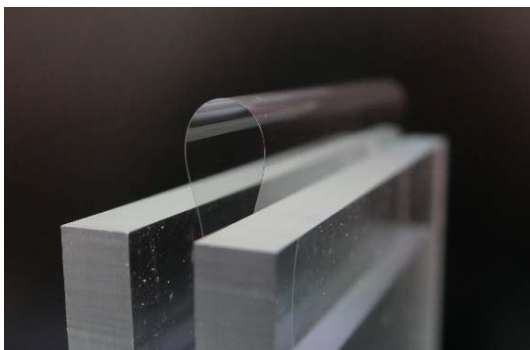
Dinorex UTG™は、当社のディスプレイ用薄板ガラスの製造で培ったオーバーフロー技術によって成形され、高い表面平滑性と板厚の均一性により曲げ特性に優れます。

Dinorex UTG™をカバーガラスに使用することで、信頼性の高いフォルダブルディスプレイの実現が可能となります。

これまで、薄い化学強化ガラスを作る場合は、厚い元板からスリミング^(※2)を行う必要がありましたが、Dinorex UTG™は、ガラス成形工程で直接薄い板ガラスを作ることが可能なため、スリミング工程を省くことができ、環境負荷物質の使用削減とコストダウンを実現することができます。

本製品は、2020 SID Virtual Display Week（8月3日～7日）に出展します。

(URL : <http://www.displayweek.org/>)



優れた曲げ特性を実現



直径3mm (R1.5) の折り曲げが可能

(※1) オーバーフロー成形法で直接成形した化学強化専用ガラスとして。2020年7月当社調べ。

(※2) 薬液を使用して化学的にガラスを均一に溶かして板厚を薄くする方法。通常、薬液にはフッ酸が使われる。

【製品の概要】

1. 製品名 Dinorex UTG™
2. 対応板厚 25、30、40、50、70～250μm
3. 出荷形態 シートおよびロール梱包

当社は、特殊ガラスのリーディングカンパニーとして、高品質なガラスを生産・供給しディスプレイ産業の発展に貢献しています。また、透明導電膜、反射防止膜などの成膜技術を活かした製品開発にも積極的に取り組んでいます。今後も大型化、薄型・フレキシブル化、高機能薄膜など、さまざまなニーズに応えるモノづくりを通して、社会に新たな価値を提供してまいります。

以 上

日本電気硝子株式会社 〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

《リリース内容に関するお問い合わせ》

総務部 広報担当

電話：077-537-1702

《製品に関するお問い合わせ》

ディスプレイ事業本部 ディスプレイ営業統括部 電話：06-6399-2726